

萬 亀

B A N K I

2025年9月

vol. 151



[特集] 来る、11月3日
山門大施食会法要



年に一度の

もくじ

- 1 住職挨拶
- 3 **[特集]**
来る、11月3日
山門大施食会法要
- 7 ペットと生き
見送ってきた方へ
万象供養感謝祭
- 8 **輪島だより**
- 9 山内葬儀について
大切なお知らせ
- 10 東長寺こども食堂
- 11 お知らせ
- 15 山内行事
- 17 東長寺基本情報
- 18 文由閣で聞きました

住職挨拶

妻が英語を習い始めました。勉強中の子供と一緒に英語が喋れるようになりたいというのがそのきっかけですが、決め手になったのはある映画を見たからだそうです。その作品自体は英語とは全く関係ない作品なのですが、スクリーンに映される俳優が見事なまでに女形を演じる姿から、人は丁寧に時間をかけて鍛練を重ねれば何者にもなれると感じたのだそうです。いくつになっても何者かになれると信じるその姿を隣で見ながら、改

めて妻を尊敬しています。その一方で、子供が覚えてくる少し変わった日本語にもまた面白みを感じたりしています。「天手古舞」、「てんやわんや」。普段なかなか使わない言葉ですが、祭りが由来となったその言葉の音感が楽しいようで、意味もなく繰り返し返している子供の姿を微笑ましく見えています。

お盆の季節になると、周りの方からお忙しいですが、実は私たちが最も忙しくしているのは施食の時

最大の 法要へ

期です。全国から僧侶の方をお招きし、檀信徒各々諸精霊に供養をしていたたくその日は寺院にとって特別な日。一年間の供養の集大成となる日です。東長寺では例年十二月三日の文化の日にお勤めしています。私自身も近隣のお寺様の施食の日にはお招きいただき、各寺の御供養のお手伝いをしておりますが、どの寺にとっても最も重要な行事、各寺の御住職様の面持ちも普段とは異なります。

寺院の年に一度のお祭り、大供養祭と言って良いその日の雰囲気は、まさに天手古舞のてんやわんや。若い世代の方には近年馴染みが薄くなってきたりしている行事ですが、寺院にとってはお盆や彼岸以上に重要な大行事。寺院に長く伝わるこの伝統行事を皆様にも味わいご加担いただき、皆様と共にこの伝統を長く育んで参りたいと思っております。

昨今の夏の暑さは時に想像を絶することもあり、お盆の季節はあまりの暑さになかなかお参りすることが出来ないという方が増えるのも当然のことかと存じます。九月を超えると暑い夏も次第に終わりを迎え、木々の色も変わり始める季節となります。十一月三日の文化の日は年間を通して最もお参りに適した時期かと存じます。またこの日は必ず晴れるという不思議な縁がある日でもあります。今年の山門大施食会も必ず晴れることをお約束いたします。暑いお盆や連休中の彼岸にはお参りが難しいという方が年に一度必ず寺にお参りする行事となりますよう、山内一堂、天手古舞、てんやわんやな日に向け、丁寧に時間と準備を重ねながら、皆様のご参詣を心よりお待ちしております。 合掌

東長寺住職 瀧澤遥風

[特集]

来る、11月3日

さん

もん

だい

せ

じき

え

山門大施食会法要



全国から僧侶が集結！

皆様とともに特別なお経を唱えます



年に一度の
この稀有で壯観な法要を
ぜひご自身の目と耳で
体感してください



昨年の施食会法要の様子

東長寺の施食会では、毎年20名もの僧侶が全国から参集し、共に供養いたします。通常の法要とは一線を画す、圧倒的な僧侶の数と、堂内に響き渡る読経の声は、まさに圧巻の一言。厳かでないが華やかさに満ち、ご参列の皆様の方に深く残ることでしょう。

「お盆」と「施食会」 2つの法要で完成する 一大儀式

施食会は、もともと盂蘭盆会と同時に
行われていた法要です。盂蘭盆会が、
ご先祖様や先立たれた大切な方へ感謝を
伝える法要だとすれば、施食会は、私たち
を今ここに生かし、支えてくれるすべての
存在に対し感謝を伝える法要です。施食
会に参列することで、お盆から始まった
ご供養の歩みが、ひとつの節目を迎える
ことになるのです。

施食会ご参列に関する詳細情報は16ページ「山内行事」をご覧ください



【特集】

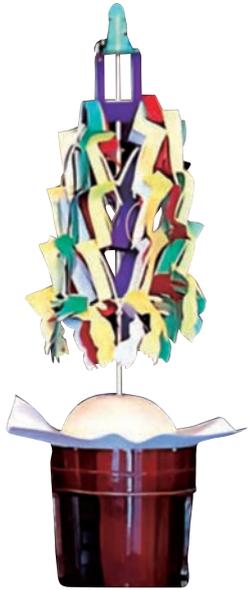
来る、11月3日
山門大施食会
法要

五感
ふるわす

見る! 聞く! 食べる!

施食会のたのしみ方

目に映る色彩、耳に響く音、手に感じる温もり、そして口に広がる味わい。すべての感覚を使って、この華やかな施食会法要を感じ取ってみませんか。



施食棚と呼ばれる祭壇に置かれる「餓鬼飯」にも五色の真幡が据えられます。

本堂を彩る「五色」に注目する

施食会法要の本堂は、普段とは異なる華やかな色彩に包まれます。特に目を引くのは、仏教の五色（緑・黄・赤・白・紫）。施食棚を飾る施食旗や、檀信徒皆様からお申し込みいただく施食幡など随所で目にするでしょう。この五色はそれぞれが仏陀の身体を表すとされています。（下記参照）

木々や草花、空模様……。五色は世界に溢れています。日々の暮らしにも、美しい色彩を見つけ出してみてください。

視

五色すべて	紫または青	白	黄	緑	仏教における五色とは
お釈迦様そのものを表す	お釈迦様の袈裟の色	お釈迦様の歯の色	お釈迦様の血の色	お釈迦様の体の色	お釈迦様の髪の色

静かに手を合わせる「合掌」

触

私たちが行う合掌は、自らの心と体を調える大切な動作です。掌と掌を合わせてみてください。日々の喧騒を離れ、意識を集中させる助けとなるでしょう。施食会の特別な空間で、お香の香りに包まれながら手を合わせることで、法要の厳かな雰囲気により深く感じ取ることができるのではないのでしょうか。



嗅

事前のお申し込みをお願いしております。詳しくは16ページ「山内行事」をご覧ください
申し込み方法も合わせてご確認いただきますようお願いいたします

東長寺ゆかりのお坊さん 深澤亮道師に聞きました！

Q 施食会ってすこし
わかりにくいのですが…

A 自らの欲と向き合い
離れる機会と考えてみては

施食会の由来となった経典とは

お盆と同時にされることも多い施食会ですが、元となったお経は異なります。施食会は救抜くぼつ焰口えんく餓鬼がき陀羅尼だらに経という経典が元になっており、登場人物は十大弟子の阿難尊者です。ある日、阿難尊者が坐禅していると、焰口餓鬼と呼ばれる燃え盛る鬼が現れ「お前は3日後に死んでしまうぞ」と言う。そこで阿難尊者がお釈迦様に相談すると、「この陀羅尼を唱えて多くのものに食べ物たべものを施し供養くわうやうしなさい」と教えを受けて生き延びたというお話です。

経典を身近に読み解いてみる

焰口餓鬼は阿難尊者に何を教えてくれたのか。これは学説ではなく私の考えになりますけど焰口餓鬼のような存在は、自分の外側ではなく内側にある存在であり「自らのなかに起きてくる貪りの心を離れなさい」というメッセージのように感じるんです。阿難尊者はお釈迦様が亡くなるときまでずっと側にいたものの、弟子のなかで最後まで悟れなかったといいます。阿難尊者の「悟りたい」という欲望。それは、煩惱の中で1番強い「貪り」という欲です。もっとお金持ちになりたいとか、もっと美味しいものが食べたい、もっと幸せになりたいというような、誰しもある「貪り」。これを離れることによって、悟りに至る。それを経典は表しているのではないのでしょうか。

我欲を離れ、法要に参加しましょう

お経を読むにしても、坐禅や写経をするにしても、全て欲を離れている時間になります。施食会に皆さんが集まって、自分の中の欲を離れている「その瞬間」を亡き方に見てもらおう。施食会はもしかしたら、そういう時間なのかもしれません。

お話を伺ったのは…



深澤 亮道師

フリーランスの僧侶として教義を伝える活動「禅活」を主催。実践的でわかりやすく穏やかな指導でご縁をつないでいる。東長寺で開催している禅活サロンも好評！

堂内に響き渡る 「音」に心をゆだねる

聴

僧侶が打ち鳴らす鑊くわく。ジャランジャランと大きな音がします。



施食会法要の大きな特徴の一つが、にぎやかな「鳴らしもの」です。力強く響く平太鼓、シンバルのような鑊くわくの音色、そして何人もの僧侶による迫力ある読経が、堂内に響き渡り、聞くものを圧倒します。

また、この日特別にお招きする

御説教師による法話も、大切な聴くポイント。落語の原点とも言われる

見を与えてくれるでしょう。

法話は、難しいものではなく、現代を生きる私たちに新しい気づきや発せひ、心を澄まして耳を傾けてみてください。

「特製弁当」を ともに味わう

味



※イラストはイメージです。
実際のお弁当とは異なります。

「食を施す」という施食会の根本的な意味に基づき、施食会法要では、ご参列の皆様にも東長寺特製のお弁当をご用意しております。毎年気持ちの良い秋晴れとなる文化の日に、皆様一同にいただく食事は他の法要にはない、年に一度の格別な時間。大勢で召し上がる和やかなひとときをお楽しみください。

施食会法要ご参列は、お弁当の準備などの都合上、
御とうばや施食幡の

ペットと生き 見送ってきた方へ

ばん しょう く よう かん しゃ さい 万象供養感謝祭を

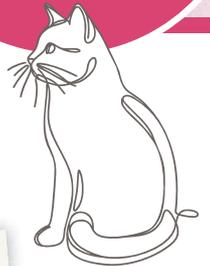
今年も厳修いたします

ペットを愛し、共に生き、そして見送られた皆様へ。
かけがえのない時間を過ごした生命に
感謝の供養を施したいという願いは尽きないことと思います。
万象供養感謝祭は、そうした皆様のお気持ちにお応えする法要です。

開催日

11月23日

日・祝



ご参列
された方から
寄せられた声

昨年の万象供養感謝祭にご参列された方より、
法要の後日お便りをいただきました。
ペットのための供養が、残された方にとって前を向く力になるのだと、
山内一同実感させていただきました。抜粋してご紹介いたします。

思いがけず素晴らしい立派な法要をしていただき、
本当に嬉しく、感謝しております。

愛犬が亡くなったとき、焼場で軽く手を合わせただけで、
葬儀のようなことを全くせずただただ涙で見送ってしまいました。
しだいに、何故葬儀をあげなかったのかと
ひどく悔やむようになりました。
同じころに亡くなった地元の身内が法要を重ね
当たり前のように皆が集っているのを目にするたびに、
打ちのめされるような寂しい思いをしておりました。

感謝祭当日は思いがけず大勢の方に暖かく囲まれ、
丁寧に扱っていただき、命の尊厳が保たれました。
この感謝祭を迎えるために、私たちは敢えて
葬儀を控えて待っていたのかもしれないとさえ思っております。
大切な家族の一員をやっぱり法要したい、心寄せたいと思う方が
私以外にもいるのではないのでしょうか。
これからもずっと続けていってほしいと心より思っています。



すべての檀信徒様に
ご参列いただけます

ペットの花とうばを承る
唯一の法要です

文由閣5階「慈嶽堂」にて
おつとめします

ご参列の有無に関わらずペット供養の花とうばのお申し込みを承っております
ご希望の方はお電話にてお申し込みください

東長寺代表 ☎ 03-3341-9746

万象供養感謝祭ご参列に関する詳細情報は16ページ「山内行事」をご覧ください





今回のお位牌壇はやや艶を抑えた仕上がり。時間をかけて漆が呼吸を繰り返すうちに深い艶が出てくるといいます。



作業中の風景

7月のある日、本院地下の観音堂に新たな位牌壇が運び込まれました。制作を手がけた輪島屋善仁から職人・職員の方々がお位牌壇と共に車に乗って上京され、設置作業を行いました。

観音堂檀家永代供養位牌壇完成

輪島だより

お互いを思い、ともに歩むための

vol.6

東長寺は輪島屋善仁を応援しています

山内各所のしつらえや、お位牌制作を手がけてきた「輪島屋善仁」。復興に向け歩む同社の一助となるよう、様々な支援活動をお寺で行っています。

震災後の工房で制作された大きな輪島塗

先頭に立って作業をすすめていたのは、下地師の戸前さん。輪島屋善仁で30年以上職人として働いてきたベテランです。これまで本院・千手堂や文由閣・龍樹堂の位牌壇など輪島塗史上前代未聞と言われる大きな作品を手がけてきました。「今回のお位牌壇も大きいですが、いくつかのパーツに分けて制作し運んできました。実際に組み上げてみるのは、この場所が初めてなんです」と語る戸前さんによると、震災直後、被災した仮工房では、このような大きなものを作る作業スペースをなんとか確保できたものの、現在その場所を取り壊しもうえ再建に向けた準備に入っているのだとか。「だからお寺に来るまでお位牌壇の全容はわからなかった。ここまで大きな輪島塗を作る機会だつて、そう多くはないんです。でも、こ



下地師の戸前さん。無事設置作業を終え笑顔です

「輪島だけにいると壊れている町や道も見慣れてしまう」と語る戸前さんの言葉に輪島の現状を感じます。新しく戸前さんの下に弟子入りした若き職人さんのことを訪ねると、表情がやわらぎました。「まだ弟子入り一年目だが、仕事の覚え方、見方、質問の仕方など、やる気もあるし、筋もいい」と嬉しそうです。

うして見ると、これまで務めてきた実績や経験が生きたと思っ
ています」
一度完成したかに見えたお位牌壇でしたが「真ん中に少し隙間があるようだ」と声が上がりました。隙間を無くすために調整を重ねる戸前さんの動作を見ていると、梱包を解いて道具を出したり、大きな漆塗りの化粧板を外して置いたり、そんな一つひとつの作業が的確で無駄がなく、美しいことに目を見張ります。
ほどなくしてぴつたりと組み上がり、隙間が見事無くなったお位牌壇。じつくりと眺めたのちに「満足しました」ときっぱり語る住職の声が響き、居合わせた皆に安堵の笑顔が浮かびました。



仕上がり確認中の住職

檀信徒参拝ツアーで能登・輪島を訪問しました！

今後も不定期でツアーを企画して参ります。山内お知らせコーナーにご注目！



千里浜なぎさドライブウェイ(石川県羽咋)にて参加者一同

永平寺研修(福井県)と輪島屋善仁(石川県)の慰問を目的とした1泊2日の檀信徒参拝ツアーを6月の初めに開催いたしました。輪島屋善仁では、デザイン室の安藤氏による漆への愛情あふれるガイドのもと工房を見学。納品直前の観音堂お位牌壇も間近に拝見しました。



前号の萬亀で登場した新人の蒔絵師・永嶋さんの作業を説明する安藤氏(左から2人目)。

山内葬儀について 大切なお知らせ

人々のニーズやライフスタイルが多様化し、また目まぐるしく変化する今日。葬儀も無縁ではありません。このたび、東長寺では山内で執り行う葬儀内容の見直しをいたしました。近年の葬儀の際にみなさまよりいただくご要望をもとに、一層ご希望に合うかたちを目指し、判断したものです。新しく改善した点は下記の2つです。

今回の見直しに伴い、山内葬儀説明会を開催いたします。ご自身の葬儀について、家族の葬儀についてお悩みの方、準備をしたいと考えている方は、ぜひご参加いただければ幸いです。

1 葬儀プランの内容が 変わります

参列の方の属性(ご家族・知人)や人数によって、より柔軟なプランが選べるようになりました。一日葬と二日葬、家族葬と親族葬などのカテゴリも整理し、わかりやすくご紹介します。

2 花祭壇デザインの 選択肢が増えます

従来の伝統的な祭壇形式に加え、現代的なアレンジのご提案など、ご本人やご家族のお好みを反映しやすくなりました。エレガント・ナチュラル・ビタミンカラーなど、故人の個性をより細かく表現できるアレンジをご提案します。

葬儀合同説明会にご参加ください

どのような葬儀をしたいのか、生前から周りの方とご自分の希望やプランを話し合い、お互いに情報を共有しておくことが大切です。
ご本人だけでなく、ぜひご家族やお知り合いとお揃いでご参加ください。

POINT1

お寺の葬儀の流れ・形式を
スライドを用いてご説明いたします

POINT2

葬儀のお悩み、ご相談も
個別に承ります

開催日 11月7日(金)・8日(土) 各日14:00~16:00

お申込み方法 下記のお電話またはメールにてお申込みください。

開催場所 文由閣 3階

電話 03-3341-9746 **メール** info@tochoji.org

お申込み締切日 各日開催日前日まで

※件名に「葬儀説明会参加希望」と記載くださいませ

お知らせ

「ものめぐり市」へ 秋のお彼岸は ご好評につき開催！

春秋のお彼岸の恒例となった東長寺の蚤の市「ものめぐり市」を今年も開催いたします。檀信徒の皆様から寄せられた魅力的なモノを次の使い手の方へとつなぐバザーです。秋彼岸会法要やお墓参りと併せてお立ち寄りください。

会場…文由閣1階および3階
日時…9月20日(土)～24日(水)
10時～16時

親睦囲碁大会 開催のお知らせ

例年とても盛り上がる囲碁大会を今年も開催いたします。檀信徒に限らず、どなたでも参加可能です。段位、級位も問いません。囲碁愛好の方々はお誘い合わせの上、奮ってご参加ください。

開催日時
11月27日(木)10時30分～15時30分
大会形式 トーナメント方式 ※実施要綱の詳細は基縁の会方式に準ずる
参加費 3千円(昼食弁当、賞品代を含む)
参加方法 10月末日までにお電話にてお申し込みください。
☎03-3334-1974(担当:瀧澤玲子)
主催 東長寺基縁の会



添菜单

須田早野江様(タオルたくさん)
山田操様(巾着袋たくさん)
田中房子様(お線香たくさん)
匿名ご希望 3名様

誌面をもって
深くお礼申し上げます

仏教文化講座

ぜひご参加を！

12月1日(日)

テーマ…「仏道を歩いて私に出会う」

講師…太田賢孝師(曹洞宗 起雲山大龍寺)

仏道を歩いていると様々な出会いや、発見があります。素晴らしいものもあれば、つまらないものもあります。そのような中から、何を手に取り、携えて歩んでいけば良いでしょうか。

【講師プロフィール】

1996年、大本山永平寺にて修行。駒澤大学大学院博士課程を経て、曹洞宗特派布教師。少年院での坐禅指導、子ども食堂、仏教電話相談等にも従事。

予約不要

参加費…無料 場所…本院地下「羅漢堂」

時間…16時30分開場/17時開講

※10月・11月は休講いたします。

京都・吉祥院にて 福祉施設建設が進行中

東長寺瀧澤住職が理事長を務める社会福祉法人「フラットビュー福祉会」では、京都・吉祥院にて新しい福祉施設をオープンすべく準備を進めております。現在、順調に工事が進み、いよいよ建物の外観や、内装のイメージも定まっております。



現地視察中の住職(6月ごろ)



外観イメージ図



居住スペースイメージ図

開催済

山内行事のご報告

■新盆合同法要(7月6日)

初めてのお盆を迎えたご家族が、三座にわたり集い法要をおつとめしました。中には小さなお子様の姿も見られるなか、故人へのそれぞれの思いを胸に、皆様と一緒にお手を合わされました。

■盂蘭盆会法要

(7月13日、8月11日)

7月・8月ともに厳しい暑さとなりましたが、大勢の皆様がお参りしてくださいました。ご先祖様に感謝を捧げ、ご参列の方々とお経を唱和いたしました。



盂蘭盆会法要(7月)の様子

新規結の会会員および入会ご検討中の皆様へ

秋の清涼院ツアー2日間

開催のお知らせ

1泊2日
要予約



清涼院 本堂

宮城県・気仙沼の清涼院を訪ねる2日間のツアー開催のお知らせです。清涼院は結の会の両墓制を支える寺院のひとつ。ツアーでは東長寺樹林葬の埋葬地見学にご案内します。さらに、お寺を護る三浦光雄ご住職やおなじみの兄弟ご僧侶との交流を深めていただける、またとない機会です。対象となる方はぜひ参加をご検討ください。



清涼院 境内

このツアーは次の皆様を対象に特別旅行代金で開催します

- 1 結の会へご入会を検討中の方
- 2 新規結の会会員で清涼院を分骨先に選ばれた方
- 3 緑の会会員でペット共葬による区分変更にご興味がある方

※上記以外の方は追加代金にてご参加いただけます。詳細はお問い合わせください。

開催日：11月12日(水)～13日(木) 特別旅行代金：45,000円

参加方法：事前予約(下記電話またはメール迄) 募集人数：限定10名様

日程	スケジュール
1	東京駅(集合・出発7:56)→仙台駅(9:30)→清涼院(昼食・境内と樹林葬地見学)→気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館(見学・60分)→気仙沼観光→気仙沼市内・ホテル(17:00頃) ※夕食は市内ホテルまたは市内レストランにて <input checked="" type="checkbox"/> 昼 <input checked="" type="checkbox"/> 夜
2	ホテル(出発8:30)→気仙沼海の市(お買物・約30分)→松島遊覧船(約50分)→松島(昼食)→仙台駅(15:30発)→東京駅(17:04着) <input checked="" type="checkbox"/> 昼 <input checked="" type="checkbox"/> 夜

●添乗員：同行します(東京駅から東京駅間) ●宿泊：気仙沼プラザホテル
※特にご希望のない場合は、相部屋の可能性がございます。

※上記スケジュールは現地事情により前後したり、変更となる可能性があります。

※ご予約後、参加者には別途旅の詳細をお送りいたします。

※募集人数に達しない場合は延期となる場合があります。

旅行代金に含まれるもの：往復新幹線代(東京駅-仙台駅間)、現地貸切バス、宿泊費、食事代(全4回：朝1/昼2/夕1)、震災伝承館入館料、松島遊覧船乗船料、旅行保険

旅行代金に含まれないもの：集合地及び解散地からご自宅間の交通費、ご自身で購入されるお飲み物、お土産など

(旅行企画・実施)株式会社ビーエス観光

過去に参加された会員様の声

どんな僧侶の方々がお寺を守っているかを知り、安心することができました。

ペット共葬のおかげで新たなご縁を結ぶことができ、出会いに感謝しています。

僧侶の方々との交流は楽しく、こんなにお寺を身近に感じたのは初めてでした。

清涼院からのごあいさつ



皆さま、こんにちは。清涼院の境内は前方に浄化の海、後方に癒しの山を望む自然豊かな環境です。四季折々に鳥や動物たちが訪れ、子どもたちの笑い声も溢れるこの場所を是非五感で感じてください。ご来山を心から楽しみにしております。

ツアーの詳細情報やお申込みは
結の会事務局へ

結の会事務局
お問い合わせ先

電話：03-5315-4015

メール：toiawase@tochoji.org

集まる・学ぶ

寺のあるくらし

ひと月に1度、お寺で過ごす予定を入れてみませんか。
新しい出会いや気付き、ちょっとした学びを探しに、ぜひお寺へお越しください。

※印の付いた教室・同好会に新規参加ご希望の方はお電話にてお問い合わせください

仏教に触れる 集いとイベント

【坐禅会】

坐禅は、曹洞宗にとって最も大切な基本的な修行です。初めての方も、お坊さんと坐禅してみましよう。

参加費・・・お布施(3百円程度)

場所・・・本堂

開催日・・・9月20日(土)

10月18日(土)

11月15日(土)

12月13日(土)

※月一回開催となります。

時間・・・17時30分より

※従来の18時開始から、時間が変更になりました。お間違えないようご注意ください。



壁に向かって行う曹洞宗の坐禅。過ごしやすい気候になる秋に始めてみましょう。

【写経の会／お経の会】

般若心経を丁寧に書き写していく写経の会と、仏教の本を読み上げて学ぶお経の会の2つを同時開催しています。

参加費・・・各会 千円

場所・・・本院書院

開催日・・・9月19日(金)

10月17日(金)

11月21日(金)

12月19日(金)

時間・・・11時より

※写経の会、お経の会は別々の会となります。最初に合同でお経を読んでもらう。各会に分かれます。

【仏教讃歌を歌う会】

仏教の教えを知る「仏教讃歌」を合唱形式で歌う同好会です。

参加費・・・2千円

場所・・・本院カフェきあん

開催日・・・原則第三金曜日

時間・・・14時より

※先生のご都合で、第三以外の金曜日になる場合もあります。

【寺カフェ】

毎月不定期で開催していた寺カフェですが、僧侶の山内行事対応のためしばらく休会いたします。

じっくりお坊さんのお話しを聞いてみたいという方へ

萬亀誌面でもおなじみの深澤亮道師による禅体験サロンを文由閣にて不定期開催中。法話や坐禅を通して寺のあるくらしを始めてみませんか。(参加費・・・5千5百円)

開催日・お支払い方法等詳細は専用サイトをご覧ください



※このサロンの企画運営は予約サイト「Onami」で行っており、東長寺事務局ではお申し込みをお受けできません。開催日や詳しい内容は専用サイトをご確認ください。

各種教室と同好会

※以下の会は休会いたします。
お掃除ボランティア、そば打ち同好会

【ヨガ】

ヨガの呼吸、アーサナ(ポーズ)、瞑想をバランスよく取り入れた「ハタヨガ」のクラスです。ストレッチやセルフマッサージなども行います。ヨガの経験を問わず、適度に身体を動かして伸ばすことで、運動不足の解消や疲労回復をしたい方へおすすめです。

事前予約制(お電話にて1週間前迄)

参加費・・・千5百円

場所・・・文由閣 5階慈嶽堂

開催日・・・9月27日(土)

10月25日(土)

11月15日(土)

12月20日(土)

時間・・・10時30分から11時45分迄

定員・・・8名参加者4名より催行

※お手数ですがヨガマットをご持参ください。100円ショップなどで販売されているものでも十分です!

【太極拳】

深い呼吸とともに、ゆったりとした動きの中から、体軸を整えていきます。年齢を問わず、生涯を通じて楽しむことができます。

参加費… 300円

場所… 文由閣 3階講堂

開催日…

9月3日(水)・10日(水)・17日(水)
10月1日(水)・15日(水)・22日(水)
11月5日(水)・12日(水)・19日(水)
12月3日(水)・10日(水)・17日(水)

時間… 10時30分より

【碁縁の会(囲碁)】

静かな空間に碁を打つ音が響く、集中と交流のひとつとき。

※11月に碁縁の会主催の親睦囲碁大会開催します！詳しくは11ページをご覧ください。

参加費… 無料

場所… 本院 カフェきあん

開催日… 9月11日(木)・25日(木)
10月9日(木)・23日(木)
11月13日(木)・27日(木)
※27日は親睦囲碁大会開催日
12月11日(木)・18日(木)
※年末の為、第3週に開催

時間… 12時30分より

文由閣サロン

いずれも文由閣1階にて開催します

「お習字教室」

毛筆・硬筆どちらでも基礎からしっかり学べます。はじめての方も気負いなくご予約ください。経験者の方は上達に合わせたお手本に取り組みます。

事前予約制(お電話にて1週間前迄)

参加費… 2千円

開催日…

9月8日(月)・22日(月)・29日(月)
10月6日(月)・20日(月)・27日(月)
11月10日(月)・17日(月)
12月1日(月)・8日(月)・15日(月)
・22日(月)

時間… 18時30分から20時迄

定員… 8名(参加者1名より催行)

連絡先… 結の会事務局



こども達の教室の後に始まるおとなのお習字教室。お仕事帰りなどにご参加くださいませ。

「テーブル茶道」

流派にとらわれず、お茶を点ててみましょう。道具の用意もご用意します。開催中は好きな時間に来てお稽古できるような変更しました。

事前予約制(お電話にて1週間前迄)

参加費… 3千円

(お茶、季節のお菓子付)

開催日… 9月16日(火)

10月21日(火)
11月18日(火)
12月16日(火)

時間… 14時30分から18時迄

定員… 8名(各回3名より催行)

※お気に入りのお道具があれば、ご持参ください。

「テーブル華道」

四季の草花で、暮らしに彩りを添えましょう。道具、花の用意もご用意します。

事前予約制(お電話にて1週間前迄)

参加費… 3千円(花材費込)

開催日… 10月28日(火)

時間… 14時30分から16時迄

定員… 8名

※使い慣れた生花鉢をお持ちの方はご持参ください。

※春夏秋冬毎の季節開催です。

「リブウェル・サロン」

今をよりよく生きるために、人生の終わりの時について前向きに学びます。

事前予約制(お電話にて当日前迄)

参加費… 無料

時間… 10時から12時迄

(個別相談を含む)

定員… 10名

連絡先… 結の会事務局

開催日とテーマ…

10月14日(火)
「相続・贈与」なんでも相談会

講師… 竹内英雄氏

(竹内英雄税理士事務所税理士)

10月28日(火)

「認知症による資産凍結を防ぐ生前対策(家族信託を中心に)」

講師… 新倉由大氏

(司法書士法人かなえりーガル)

代表司法書士

※11月・12月の開催詳細は結の会事務局にお問い合わせください。
※リブウェル・サロン、終活セミナーの詳細については、萬亀に同封のちらしもご確認ください。

山内行事

2025.9月 — 12月

「ついで」たち法要

「日時」9月1日(月)・10月1日(水)・
11月1日(土)・12月1日(月)
各日、18時30分開始

毎月ついでたちにおつとめする、その月に亡くなられた方を偲ぶご供養です。読経では戒名を読み上げ、参列の皆様で水の苑に燈明を流す「萬燈供養」をいたします。檀信徒のみならずどなたでも参列いただけますので、故人とゆかりのある知り合いの方やご友人もぜひお誘いください。

授戒式

「日時」9月1日(月)・12月1日(月)

お釈迦様より伝えられた戒律を授かり、仏弟子となる儀式です。縁の会・結の会会員で未授戒の方を対象に厳修しています。

まだ授戒されていない方で参列ご希望の方はご連絡ください。

すでにお申し込みをいただいている方には詳細を追って別送にてお知らせいたします。

秋彼岸会



「期間」9月20日(土)〜26日(金)

秋分の日を中日とし、前後3日間を合わせた計7日間が彼岸会の期間となります。ご先祖を供養する期間として、お墓参りや善行を心がけましょう。

●お墓参りは、本院・文由閣いずれも開門時間内にお参りください。

秋彼岸会法要

左記の日程にておつとめいたします。万障お繰り合わせの上、御参詣並びに御焼香くださいますようお願い申し上げます。

「日時」9月23日(火・祝)

午前の部：10時30分受付

11時打ち出し

午後の部：13時30分受付

14時打ち出し

●参列のための電話予約は必要ございません。出欠は御とうばのお申し込みとともに、萬亀に同封の「申し込みはがき」にてお知らせください。

●ご参列の有無にかかわらず、萬亀に同封の「申し込みはがき」より、御とうばのお申し込みを承っております。秋彼岸会法要にて、志主のお名前を読み上げ、ご供養させていただきます。詳細は以下枠内をご確認ください。なお、御とうばをお申し込みにならない場合は、「申し込みはがき」の返信は無用です。

秋彼岸会法要 御とうばのお申し込み方法・ご注意

申し込みはがきについて

宛名の面に、ご住所・ご芳名・電話番号を必ずご記入ください。切手は不要です。施主氏名にはフリガナをふってください。

御とうば代金および回料御志納方法

来山時にご持参いただくか「現金書留」又は「郵便振替」よりお選びください。

現金書留をご利用の場合

① 萬亀に同封の「申し込みはがき」に必要事項をご記入ください。

② 現金書留専用の封筒を郵便局窓口で購入いただき、「申し込みはがき」と代金を同封の上、発送してください。

※必ず「申し込みはがき」を現金書留封筒に同封ください。

郵便振替をご利用の場合

① 萬亀に同封の「申し込みはがき」に必要事項をご記入の上、投函ください。

郵便振替の場合は「はがきをお忘れなく！」

② 萬亀に同封の「払込用紙」にお名前、連絡先をご記入の上、払込手続きを行ってください。

※必ず萬亀に同封の「払込用紙」をご利用ください。

お申し込み締切日 9月12日(金)必着

郵便事情が悪くなり、配達にかかる日数が以前より大変長くなっております。なるべくお早めにご投函ください。

その他

●お檀家御塔婆は1本5千円、花とうばは1本2千5百円です。花とうばは、連名不可とさせていただきます。

一山内大施食会法要

お檀家様、縁の会・結の会の会員様と一緒に左記の日程にて開催いたします。万障お繰り合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

〔日時〕11月3日(月・祝)

正午より 受付・昼食接待

13時 法話

御説教師をお招きします

14時 山門大施食会法要

【お檀家の皆様】

●お檀家の皆様には別途詳細のご案内書をお送り致します。ご参列並びに御塔婆のお申し込みは、案内書に同封のがきにて**10月15日(水)必着**でお知らせください。

〔回向料〕随意(当日受付にてお納めください)

●当日はご参列の皆様にお弁当をご用意しております。ご出席の方の人数を必ずご記入くださいますようお願いいたします。尚、ご参列なさらず御塔婆のみのお申し込みも受け付けております。

●ご欠席の場合、御塔婆代金及び回向料は案内書に同封の封筒に入れ、塔婆申し込みはがきと共に現金書留にてお送りください。尚、施食会法要は、郵便振替は利用できませんのでご了承ください。

【縁の会・結の会の皆様】

●ご参列の皆様には、ご供養の証として、五色に彩られた施食幡に左記のような書式にてお名前を記入し、本堂内陣または水の苑回廊に掲げます。ただし、色の指定はできませんのでご了承ください。

東長太郎之先祖代々諸精霊

●当日はご参列の皆様にお弁当をご用意しております。また、ご参列に付添人が必要な場合は、付添の方のお弁当をひとつ千円でご用意いたします。準備の都合上、ご参列のお申し込みは**10月15日(水)必着**で萬亀に同封の「申し込みはがき」にてお知らせください。

〔施食幡申込料〕おひとりにつき5千円(当日受付にてお納めください)

●ご参列なさらない場合にも施食幡の申し込みを受け付けております。法要にて、志主のお名前を読み上げ、ご供養させていただきます。お申し込みの場合は、施食幡申込料及び回向料を現金書留にて以下の手順で御志納ください。

①萬亀に同封の「申し込みはがき」に必要事項をご記入ください。

②現金書留専用の封筒を郵便局窓口で購入いただき、「申し込みはがき」と代金を同封の上、発送してください。

●施食会法要は、郵便振替は利用できませんので、ご了承ください。

二万象供養感謝祭

この法要では生きとし生けるすべてのもの、またあなたを取り巻く世界すべてに感謝し、供養をいたします。特に暮らしのパートナー、家族の一員だったペットのご供養につきまして、この法要に限り、花とうばも承ります。

尚、縁の会・結の会会員で33回忌を迎えた方の、弔い上げ並びに多宝塔納骨法要「多宝塔諷経」を併修

いたしますので、ご家族の方々は左記日程をご確認の上、合わせてご参列ください。ご遺骨は当山にてあらかじめ納骨させていただきますことをご了承ください。

〔日時〕11月23日(日・祝)

10時 多宝塔諷経

場所…多宝塔

10時30分 受付

11時 万象供養感謝祭

場所…慈嶽堂(文由閣5階)

〔回向料〕随意(当日受付にてお納めください)

●ペットご供養の花とうばは、どんな様でもお申し込みいただけます。ペット共葬をお約束した結の会の方に限らず、ご希望の方はお電話にてご用命ください。

●秋彼岸会や大施食会など、季節の大きな法要の時には郵送にてお布施をお預かりした際に、受取済みの連絡を個別に差し上げることができません。誠に申し訳ございませんが、あらかじめご了承ください。



靴下着用をお願いします

まだまだ残暑が厳しい季節。普段は素足でお出かけになる方もいらっしゃるかと存じます。山内でお履物を脱がれた際には、素足のままではなく靴下などを着用してお上がりくださいますようお願いいたします。

東長寺 基本情報

■開門時間について

9時から17時までといたします
(ついでに法要開催日を除く)。

■電話での対応

9時30分から17時までといたします。

【代 表】03-33341-9746

【縁の会】03-33353-6874

【結の会】03-5315-4015

■御葬儀、年回忌の法要について

山内葬儀、出張葬儀、年回忌法要
(参列者なしの場合を含む)もおつ
とめしております。詳しくはお電
話にてお問い合わせください。

■お墓参りについて

開門時間内にお参りください。ま
た、**墓所において、害獣・害虫に
よる被害が発生しております。**せ
つかくのお供え物ですが、お参り
が終わったあとはお持ち帰りくだ
さいますようお願い申し上げます。

■ついでに法要について

毎月ついでに、その月に亡くなら
れた方のお名前を読み上げ、ご供
養しております。どなたでも予約な
くご参列いただけます。

●法要開始18時30分

■花とうばについて

山内法要へのご参列の有無にかか
わらず、花とうばを随時承つてお
ります。詳しくは左記をお読みい
ただき、お電話またはFAXにて
お申し込みください。

【電 話】03-33341-9746

【FAX】03-33341-2150

●お申し込みの際に、次の①②③
をお知らせください。

①故人のお名前

②施主のお名前

※FAXの場合は、ふりがなも
記載ください。

③花とうばの本数

●施主は連名不可です。

【代 金】1本2千5百円

●お支払いは現金書留にてご郵送
いただくか、次回ご来山の際に
ご持参ください。

例年年末に行っている各納骨堂のお位牌清掃を 今年は10月より順次開始します

対象となる場所

●本院 羅漢堂、千手堂 ●文由閣 龍樹堂

清掃実施日

- 10月20日～24日：本院 千手堂、文由閣 龍樹堂
- 11月10日～21日：本院 羅漢堂

お願い

清掃中の納骨堂内には立ち入ることができません。
該当時期にお参りをお考えの方は予め電話での
お問い合わせをお願いいたします。

ご不便をおかけし誠に申し訳ございませんが、ご了承くださいますようお願いいたします

東長寺 奉賛金窓口

お寺に集う皆様のご奉賛をたまわる 窓口を開設しております

これまで多くの方がご寄進くださりそのおもいやりとご厚意に心より感謝申し上げます。
お寺の強力なサポーターである皆様へ、報恩をつくしてまいります。
ひきつづきどうぞよろしくお願いいたします!

奉賛金使途:山内メンテナンス、設備維持費、公共料金 など

振込先 口座名称 トウチョウジ

●ゆうちょ銀行(郵便局)から
振り込む場合
【口座記号番号】
00180-8-674587

●他の銀行から振り込む場合
【銀行名】ゆうちょ銀行
【店 名】〇一九(ゼロイチキュウ)
【店 番】019 【口座番号】当座0674587

次号予告

萬亀

2025年12月号 vol.152

【特集】

わたしを支えるもの
わたしが支えるもの

※内容は変更になる場合があります。

参詣の皆さまへ

山内では安心して参拝いただけるよう清掃・消毒・換気に留意しております。ご来山の際には引き続き、風邪や季節性インフルエンザなどが重症化しやすい高齢の方への配慮をお願いいたします。

文由閣で聞きました

本堂「慈嶽堂」や結の会納骨堂「龍樹堂」のほか、講演会や音楽会も開催できる「講堂」や、
どなたでも休憩いただける寺務所(ロビー)がある檀信徒会館「文由閣」。
様々な文化活動やイベント、同好会や教室などの会場として皆様をお迎えしております。
さて、今日は出会いが待っているでしょうか？

いくつになっても 手を動かして何かを作っていたい

縁の会会員/手芸作家として
山内常設チャリティーバザーに作品出品中

三橋てる代さん

お坊さんにも
大好評な三橋さんの
「布ぞうり」は
ものめぐり市でも
販売します!

ものめぐり市の詳細は
11ページをご覧ください

ボランティア手芸作家

手から手へ、想いをつなぐ

東長寺本院ではボランティア作家
家による作品を販売し寄付活動
を行っています。三橋てる代さ
んは、ここに欠かせない作り手
の一人。かつてお母様の手による
布ぞうりを東長寺のバザーに出
品したところ評判を呼び、20年
ほど前からご自身も作るように

なりました。布ぞうりの材料は
くたびれた浴衣。お母様は襦ぞ
うりの作り方をヒントに作り始
めたそうです。母から受け継い
だ「ものを大切に」という思いを、
作品を通してつなぐ三橋さん。
東長寺の蚤の市「ものめぐり市」
にも作品を出品予定です。

どんなものを作っていますか

主に、布ぞうりとブックカバーです。布
ぞうりは浴衣一着で二足分作れます。
ブックカバーは、美大生だった孫が卒業
制作で染めた布を使って作りました。

布ぞうりの作り方は？

浴衣の布を6本にし、さらに四つ折りに
してアイロンをかけ紐状に。それらを
編んでいきます。柄合わせなど細かな
見た目も気にして作っています。

どんなことを考えて作っていますか

無心で手を動かしていると、母が言っ
ていた「手慰み(てなぐさみ)」という言葉
を思い出します。いくつになっても手
で何かを作っていたいですね。

ものづくり好きの皆さん、ボランティア作家として活動しませんか

趣味や特技を活かした手づくりの作品を山内のバザーで販売し、誰かの役に立っていくという活動です。
ご興味のある方はメール info@tochoji.org または山内寺務所までお問い合わせください

文由閣は皆様が開かれた「檀信徒会館」です
結の会事務局のスタッフが常駐し、皆様のお越しをお待ちしております

知り合いに東長寺を
紹介したい

資料を取り寄せたい

東長寺や文由閣を
見学してみたい

お気軽なく結の会事務局までお問い合わせください

結の会事務局
お問い合わせは
こちら

TEL. 03-5315-4015

電話受付時間
9:30~17:00(日曜・祝日も受付)

MAIL toiawase@tochoji.org

縁の会会員の皆様へ

結の会の「ペット共葬」や「樹林葬」は、縁の会会員様も契約変更によりお申し込みいただくことが可能です。
詳しくは、文由閣に常駐の結の会事務局スタッフをお訪ねいただくか、上記のお電話またはメールアドレスまで、お問い合わせください。

永代供養墓
結の会

詳しく説明した
ホームページも
ございます



<https://tochoji.info/>





東長寺寺報 萬亀

2025年9月号(第151号)

発行所: 曹洞宗 萬亀山 東長寺

発行日: 2025年9月1日

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-34

(代表) TEL.03-3341-9746 FAX.03-3341-2150

(縁の会) TEL.03-3353-6874

(文由閣・結の会) TEL.03-5315-4015



www.tochoji.jp

このパンフレットは
FSC®森林認証紙
を使用しています。

FSC®認証は責任
ある森林管理を認
証する制度です。

